



# 「写真が語る いのちのバトンリレー」



～看取り、在宅医療、地域包括ケアの現場から～

参加  
無料

人生の終幕をどのように迎えたいですか？

家族や地域、往診医や訪問看護・介護などに支えられ、本人の望み通り逝く人たち、そんな「あたたかい看取り」の現場を、数百枚の写真スライドとエピソードで語っていただきます。

誰もが安心して生きることのできる地域包括ケアについて、皆さんで考えてみませんか。



「写真絵本『いのちつぐ「みとりびと」』（農文協、全12巻）の第1巻「恋ちゃんはじめての看取り」より

日時

令和6年 2月16日(金)  
14:00～16:00 (13:45開場)

会場

愛知学院大学キャッスルホール 1104教室  
(北区名城3丁目1-1)

対象

どなたでも (申込多数の場合は北区在住・在勤・在学の方優先とします。)

定員 60名



講師 國森 康弘氏

写真家、ジャーナリスト

新聞記者を経てイラク戦争を機に独立。紛争地や経済困窮地域を回り、国内では戦争体験者や野宿労働者、東日本大震災被災者取材。命の有限性と継承性をテーマとし、看取り、在宅医療、地域包括ケアの撮影にも力を入れている。

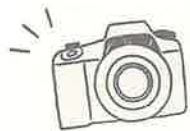
2011年度上野彦馬賞グランプリ、ナショナル国際写真コンテスト2009日本版優秀賞など受賞。NHKの「おはよう日本」「ハートネットTV」「ラジオ深夜便」、TBS「Nスタ」などに出演。

◆著書『写真と言葉で刻む 生老病死 そして生』（農文協、2020年）、『笑顔をありがとう』（サンライズ出版、2021年）、写真絵本『いのちつぐ「みとりびと」』（農文協、全12巻）など。

お問い合わせ

名古屋市北区西部いきいき支援センター TEL(052)915-7545





# 「写真が語るいのちのバトンリレー」



～看取り、在宅医療、地域包括ケアの現場から～

## 会場アクセス

**会場** 愛知学院大学キャッスルホール 1104教室  
(北区名城3丁目1-1)

**アクセス** 地下鉄名城線「名城公園」駅  
「2番出口」より 南へ徒歩1分  
(一番北側の校舎になります)

注意事項 ▶ 駐車場のご用意はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



## お申込方法

参加希望の方は、以下の必要事項をご記入の上、電話、FAX、電子メールのいずれかでお申し込みください。  
参加者多数の場合は先着順とさせていただきます。(北区在住・在勤・在学の方優先となります。)

**申込期間** 令和6年1月11日(木)から 令和6年2月8日(木)まで(必着)

**申込先・問合せ先** 北区西部いきいき支援センター  
(〒462-8511 名古屋市北区清水四丁目17番1号 北区在宅サービスセンター内)

**電話** 052-915-7545 **FAX** 052-915-2641

**電子メール** [h-kita-seibu@nagoya-shakyo.or.jp](mailto:h-kita-seibu@nagoya-shakyo.or.jp)  
(件名に、「バトンリレー希望」と入力してください。)

|             |  |
|-------------|--|
| ふりがな<br>お名前 |  |
| ご住所         |  |
| ご所属         |  |
| 電話番号        |  |
| メールアドレス     |  |

※ご記入いただく個人情報は、本イベントの事務処理以外には使用いたしません。  
また、承諾なく第三者に提供することはありません。

